

# JF ZENGYOREN PRESS RELEASE



全国漁業協同組合連合会

送信先

報道各位

発信元

JF 全漁連 総合管理部・広報

電話：(03)3294-9629

Fax : (03)3294-9664

送信日：2013年1月25日

送信枚数(本紙を含む)：2枚

## 福島第一原発汚染水の海への放出方針に対する抗議について

東京電力が、1月24日の原子力規制委員会検討会において、原発内に滞留している汚染水を処理し、関係者の合意を得ながら海に放出する方針を示したと報道がなされたことに対し、JF全漁連は本日、別紙のとおり抗議声明を発出いたしましたのでご案内いたします。

## 福島第一原発汚染水の海への放出方針に対する抗議行動

日 時 2013年1月25日（金）

15:45～ 廣瀬直己東京電力社長

(東京電力本社 千代田区内幸町1-1-3)

本件についての問い合わせ先

漁政部 03-3294-9614

総合管理部・広報 03-3294-9629

平成25年1月25日

東京電力株式会社  
代表取締役社長 廣瀬直己 殿

全国漁業協同組合連合会  
代表理事長 服部郁弘

### 福島第一原発汚染水の海への放出方針に関する厳重抗議

東京電力は、1月24日の原子力規制委員会検討会において、原発内に滞留している汚染水を処理し、関係者の合意を得ながら海に放出する方針を示したと報道がなされた。

このことが真実ならば、平成23年12月26日に東京電力が示した「中間的安全確保に基づく施設計画にかかる報告書」においても、滞留水の安易な放出は行わないこととともに、万一にも海洋への放出する場合は関係省庁の了解なくしては行わない、としているこれまでの方針を反故にするものである。

われわれ漁業者は原発事故以来、度重なる高濃度汚染水の放出・漏出を二度と起こさないことを、東京電力並びに国に対して強く求めてきた。

漁業者は原発事故による実被害と風評被害に苦しみながら消費者との信頼関係の構築に努めているところであるが、このような努力を全て無にするものであり、強く抗議するものである。

全国の漁業者を代表して、このような発言の撤回し、従来の約束を誠実に実行し、滞留汚染水の海への放出を絶対行わないよう求めます。

以上